

《南海トラフ巨大地震旧鉱物採掘区域防災対策事業とは・・・》

補助金総額：約79.2億円

実施期間：令和7年3月～令和11年3月まで

事業概要：南海トラフ巨大地震で被害が想定される地域の旧亜炭採掘区域において、坑内残柱の劣化等とともに、南海トラフ巨大地震の大きな揺れを原因とした、旧鉱物採掘跡の陥没による大きな被害が生じる可能性があることを未然に防止し、当該地域の防災対策を図る事業

目標値：地盤せい弱性調査 約53.9ha、防災工事 約59.1haを実施

目標達成時期：地盤せい弱性調査を令和8年度中に完了し、調査の結果、「対策が必要」と判定された区域において、令和10年度までに防災工事を実施

《事業スキーム》



亜炭鉱廃坑の現状



亜炭鉱廃坑内



東海環状自動車道建設現場

《地盤せい弱性調査の流れ》

① 地層確認ボーリング

→ 地層の情報を確認します。



② 空洞エリアボーリング

→ 空洞エリアの状況を確認します。

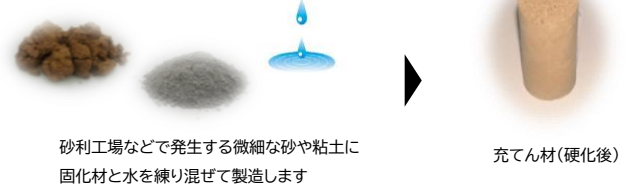


③ 亜炭鉱跡対策検討委員会

→ 防災工事が必要か判定します。



「充てん材」とは・・・



《防災工事(空洞充填工事)の流れ》

① 充填孔削孔

→ 空洞まで穴を開けます。



② 充填材製造

→ プラント施設にて充填材を製造します。



③ 配管工

→ 充填材をプラントから配管により圧送します。

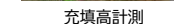


④ 充填工

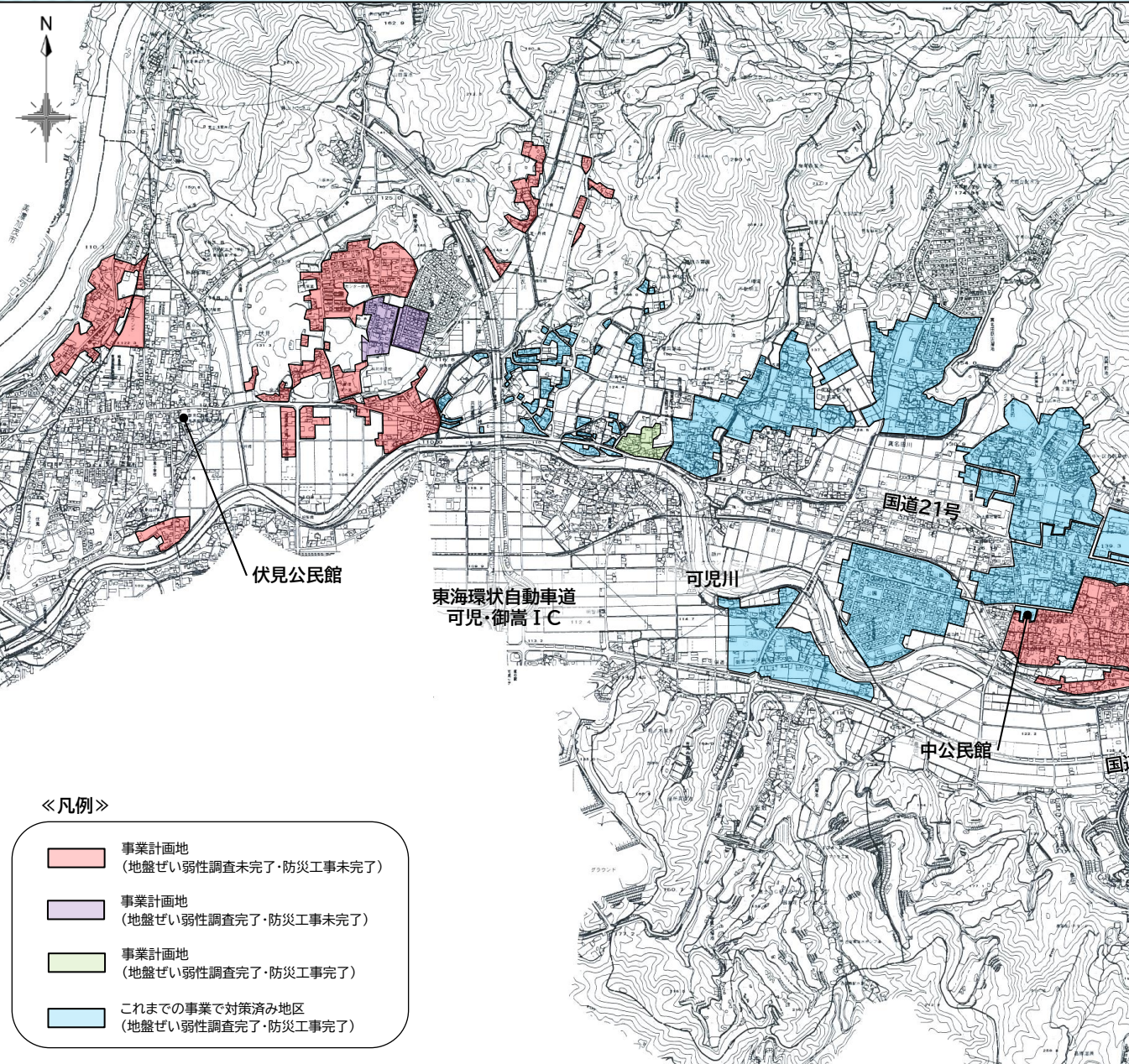
→ 空洞まで流し込みます。



品質管理



南海トラフ巨大地震旧鉱物採掘区域防災対策事業 位置図



【地盤げい弱性調査】 令和8年3月31日現在

単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
目標値	53.9				53.9
計画値	0.0	53.9	0.0	0.0	53.9
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
達成度					0%

【防災工事】 令和8年3月31日現在

単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
目標値	59.1				59.1
計画値	1.5	5.0	21.6	31.0	59.1
実績値	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5
達成度					3%

(注) 目標値の地盤げい弱性調査53.9haと防災工事59.1haの差(5.2ha)は、前事業で地盤げい弱性調査のみ完了した面積

《凡例》

- 事業計画地
(地盤げい弱性調査未完了・防災工事未完了)
- 事業計画地
(地盤げい弱性調査完了・防災工事未完了)
- 事業計画地
(地盤げい弱性調査完了・防災工事完了)
- これまでの事業で対策済み地区
(地盤げい弱性調査完了・防災工事完了)

伏見公民館

東海環状自動車道
可児・御高 I C

可児川

国道21号

中公民館

国道21号バイパス

御高町役場

御高公民館